

## 1 国語に関する調査

### 【特長】

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができている。また、送り仮名に注意して、漢字を正しく使うことができている。
- 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができている。説明文の学習で、内容の中心となる語を考えるよう指導してきた成果である。

### 【課題】

- 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることに課題がある。
- 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。

## 2 算数に関する調査

### 【特長】

- 伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができている。
- 加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができている。算数の学習で、基礎的な問題に繰り返し取り組む機会を設定しているためと考えられる。

### 【課題】

- 「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることに課題がある。数量に関する用語の示す意味を丁寧に学習する必要がある。
- 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。

### 3 児童質問紙の結果より

#### 【特長】

- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と答えている児童が多い。
- 「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」と答えている児童が多い。

#### 【課題】

- 「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」、「毎日、同じくらいの時刻に起きている」、「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と答えている児童の割合が低い。生活や学習を自律的に整えることに課題があると考えられる。
- 休み時間や休みの日に学校図書館や市の図書館へ全く行かない、学校の授業時間以外に読書をほとんどしない児童の割合がやや高い。

### 授業・学校生活の充実に向けた取組

- 国語や算数の基礎的な知識や技能の定着を図るとともに、それらを活用して考えたり、言葉や文章で表現したりする学習を多く取り入れていく。
- 本校の目指す子ども像の一つである「自ら考え、進んで探求する子」を育てるため、今後も児童が自分の思いを大切に、それを表現する活動を取り入れていく。
- 新型コロナウイルス感染症対策で休止となっていた、朝の図書の日や保護者ボランティアによる読み聞かせを再開することで、本を身近に感じられる環境づくりを進める。
- 担任だけでなく学校の教職員がチームとなって児童を支援し、児童が困った際にすぐに誰かに相談できる環境を設定することで、安心して学校生活を送れるようにする。

### ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- お子さんとの言葉のキャッチボールを通して、自分の思いを言葉で表現し、相手に伝えることの大切さを実感できるように、家族でじっくり話す機会をもってください。
- 心身ともに成長する今の時期は、生活のリズムを整えてよく睡眠をとることが大切です。お子さんが十分に睡眠をとることができるよう、ご家庭での声かけや配慮をお願いします。
- 新型コロナウイルス感染症対策のため、子どもたちは地域行事の体験が少なくなっています。地域行事を通して、子どもたちを育てていくことができるよう、ご協力をお願いします。